

福祉あがの

令和6年7月16日発行

発行：社会福祉法人
阿賀野市社会福祉協議会



昨年の9月15日(金)に市内在住の75歳以上の一人暮らし等の方を対象とした「ふれあい昼食会」を実施し、46名のご参加をいただきました。

新型コロナウイルスも5類感染症に移行したこともあり、4地区合同で開催し、食事もお弁当ではなく北方文化博物館の館内で食事を取り楽しいひと時を過ごしました。

おいでいただいた皆さま、ご協力いただいた民生委員児童委員の皆さま、ありがとうございました。
(ふれあい昼食会は赤い羽根の助成金を受けております)

令和6年度 阿賀野市社会福祉協議会事業計画・収支予算

事業計画

基本理念

市民の主体的参加と協働により「お互いさま」といえる「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を推進します。

基本方針

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置づけで令和5年5月より5類に緩和されたことにより、地域住民の生活も以前と同じような活気を取り戻した状況と言えます。しかし、この感染症の流行の前と後では、地域住民を取り巻く環境は大きく変わりました。ソーシャルディスタンスの下で、地域の住民同士のつながりは分断され、地域の抱える課題やニーズは個別化されて、より多様化し、複雑化・深刻化が進みました。わたしたちは地域社会の関係性を回復させつつ、より強化しながら、アフターコロナの時代が抱える新たな課題の解決に取り組んでいきます。

近年、全国各地で発生している、想定外といわれる自然災害は、いつ、どこで発生してもおかしくない状況で、阿賀野市も例外とは言えません。令和3年度から実施している災害ボランティア活動に対する住民への啓発活動の継続や、主に役職員を対象にした災害ボランティアセンターの設置運営訓練等の平時からの防災・減災に向けた体制の整備やさまざまな関係機関とのネットワークの構築を継続していきます。

日常生活自立支援事業等により地域の権利擁護支援を必要とする人の相談支援の充実を図ります。

通所介護事業において、ここ数年間介護保険収入の減少が続いています。特別養護老人ホームの整備が進み、以前に比べて迅速に施設入所が可能となったこと等の高齢者を取り巻く状況の変化やこれまでの「お預かり型」のデイサービスから運動を行って予防を重視する「リハビリ型」のデイサービスが求められるという通所介護の役割の変化等への対応が遅れたことが要因の1つとして考えられます。

そのため、令和6年度の介護保険法改正に合わせて、科学的介護情報システム(LIFE)を活用して、エビデンス(根拠)に基づいた介護を提供できる体制を構築して、利用者の自立支援と重度化防止等の取り組みを行えるように方向転換していきます。具体的には、第二わかばの里で導入したリハビリソフト「リハプラン」をむすびの里、第二むすびの里にも導入して、新たに加算を算定します。さらに、LIFEを活用することで算定可能となる加算を積み上げることで、利用者一人当たりの収益率を現在よりも上げることを目指します。

赤字解消を図るうえで稼働率の向上は必須です。今年度が赤字解消の足掛かりとなるよう、新規利用者の紹介をしていただくケアマネジャーへの営業の質を高めていきます。具体的には次のことを行います。まず、居宅介護支援事業所へ定期的に訪問を行い情報収集、新規依頼等を行う営業担当の職員を新たに配置します。次に、現在、ケアマネジャーからの新規の問い合わせは各事業所の生活相談員が対応していますが、生活相談員によって対応の違いがあることは否めません。そこで、新規の受け入れの可否を社協として統一した考え方でできるように問い合わせ窓口を一本化します。さらに、現在それぞれの施設で発行している広報紙を1つにまとめて、デイサービスセンターのサービスの様子がより伝えられるように、情報発信力を強化します。これらを行うことで社協のデイサービスセンターをアピールし、ケアマネジャーからの信頼をより確かなものにしていきます。

加えて、令和4年度に開設した児童発達支援センターは、その専門機能を活かし、地域の発達の気になるお子さん、育てにくさを感じるお子さんやその家族への相談、また、それらのお子さんを預かる施設への援助・助言を行うなど、地域の中核的な療育支援を行う役割を担ってきました。今後、五泉市と阿賀町を含めた圏域でも、その役割を担えるかどうか関係機関と意見交換を重ねつつ、圏域化についての課題を検討・整理して、将来の方向性を考えていきます。

重点事項

1. 広く関係機関との連携を図り、生活困窮者への包括的・継続的な支援の強化
2. ボランティア活動の支援と人材育成
3. 災害ボランティア活動の啓発
4. 介護保険サービス、障害福祉サービスの充実
5. 児童発達支援センターの充実
6. 阿賀野市指定管理者制度事業の推進
 - (1) 阿賀野市デイサービスセンター
 - (2) 保健福祉センター「京和荘」(複合型施設)

収支予算

科 目		予 算 (円)	科 目		予 算 (円)
収 入	会費収入	4,303,000	支 出	人件費支出	331,839,000
	寄付金収入	49,000		事業費支出	80,592,000
	経常経費補助金収入	76,181,000		事務費支出	38,147,000
	受託金収入	38,704,000		就労支援事業費支出	4,041,000
	貸付事業収入	500,000		貸付事業支出	500,000
	事業収入	638,000		助成金支出	463,000
	介護保険事業収入	216,632,000		固定資産取得支出	0
	就労支援事業収入	4,041,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	686,000
	障害福祉サービス等事業収入	95,807,000		積立資産支出	1,000
	その他の事業収入	60,000		その他の活動による支出	15,451,000
	受取利息配当金収入	12,000			
	その他の収入	816,000			
	その他の活動による収入	4,948,000			
収入合計	442,691,000	支出合計	471,720,000		
		当期資金収支差額	△ 29,029,000		

令和5年度 阿賀野市社会福祉協議会 事業報告

<法人運営事業サービス区分>

- 会務の運営
理事会(5回)、評議員会(4回)、監事会(4回)、訪問監査(4回)、正副会長会議(7回)、の開催
- 福祉関係者の顕彰
阿賀野市社会福祉協議会会長表彰(22名、1団体)
- 役職員の研修
役員研修(0回)、職員研修(21回、49名参加)
自主研修(0回)
- 自主財源の造成
一般会員 9,155世帯(66.8%)
特別会員 5団体/13口・38施設/54口・7法人/8口
賛助会員 122個人/122口
- 行政機関・関係福祉団体との連絡調整
阿賀野市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画を踏まえ「共に生き共につくる福祉社会」の実現のため所轄庁、関係機関、団体の主催する各種委員会・協議会等に出席するなど多職種との連携、連絡協議に努めた。
- 外郭団体への支援
阿賀野市老人クラブ連合会・阿賀野市身体障害福祉協議会・阿賀野市手をつなぐ育成会・阿賀野市連合遺族会の活動支援
- くらしを守る住民活動の推進(虚礼廃止運動推進事業)
無料礼状ハガキの活用(活用者21名、活用枚数278枚)
- 啓発活動の強化
第72回新潟県民福祉大会の参加
社協だより「福祉あがの」の発行、社協広報事業(ホームページ)の実施
- 共同募金活動の強化
実績額 8,937,370円(達成率89%)
- 「地域の集いの場」サロン活動の推進
住民が主体となって行う、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所の運営支援
- 災害救援活動の支援
新発田青年会議所との災害時相互協力協定の継続
阿賀野市との災害ボランティアセンターの設置、運営に関する協定の継続
阿賀野市ライオンズクラブとの災害ボランティアセンター支援に関する協定の締結

<配食サービス事業サービス区分>

配食サービス事業
(利用者：103名、食数：3,757食 1回平均配食数：安田地区26食、京ヶ瀬3食、水原28食、笹神17食)
おせち料理サービス事業(12/30 75食)

<生活福祉資金サービス区分>

福祉資金
福祉費
(前年度末9件、新規0件、償還完了1件、貸付中8件)
緊急小口資金
(前年度末0件、新規0件、償還完了0件、貸付中0件)
総合支援資金
生活支援費
(前年度末8件、新規0件、償還完了0件、貸付中8件)
一時生活再建費
(前年度末2件、新規0件、償還完了0件、貸付中2件)
離職者支援資金
(前年度末4件、新規0件、償還完了0件、貸付中4件)
教育支援資金
教育支援費
(前年度末8件、申込0件、決定0件、償還完了2件、貸付中6件)

就学支援費

(前年度末3件、申込0件、決定0件、償還完了0件、貸付中3件)

<小口資金貸付事業サービス区分>

前年度末貸付件数5件、新規申込5件、償還完了5件、貸付中5件、償還免除0件

<生活困窮者自立支援事業サービス区分>

相談支援、支援調整会議の開催、内部研修の開催など(相談受付件数70件)

<福祉サービス利用支援事業区分>

日常生活自立支援事業の実施(利用者 8名)

<法人後見事業区分>

法人後見事業の実地(利用者 0名)

<ボランティアセンターサービス区分>

ボランティアセンターの開設
ボランティア活動の支援(登録ボランティア 個人338名、75グループ1,430名)

<通所介護事業拠点区分>

デイサービスセンター「むすびの里」(延べ利用者 2,894名)
デイサービスセンター「第二むすびの里」(延べ利用者 7,900名)
デイサービスセンター「第二永寿園」(延べ利用者 3,617名)
デイサービスセンター「第二わかばの里」(延べ利用者 7,011名)
デイサービスセンター「おおむろの丘」(延べ利用者 3,951名)
※基準該当障害者福祉サービス生活介護
デイサービスセンター「むすびの里」(延べ利用者 12名)
デイサービスセンター「第二わかばの里」(延べ利用者 40名)

<訪問介護サービス区分>

阿賀野市社協ヘルパーステーション「ぬくもり」(実利用者 355名)
※保険外サービス(利用者 18名)

<障害者居宅介護サービス区分>

自立支援
身体障害者(実利用者 77名)、知的障害者(実利用者 30名)、精神障害者(実利用者 60名)
地域生活支援(実利用者 49名)

<こどものことばとこころの相談室サービス区分>

通所支援(延べ利用者 3,061名)
相談支援(計画相談 254名、モニタリング 415名)

<さくらの会作業所サービス区分>

就労継続支援B型事業の経営(延べ利用者 3,946名)、利用者が個々の能力を伸ばせるよう働く場の提供(自主製品販売活動、外注加工事業、わかばの里掃除、若葉町草刈りなど)

<地域活動支援事業サービス区分>

地域で暮らす障がいのある方の余暇活動を楽しむ憩いの場の提供(延べ利用者 1,696名)

<京和荘サービス区分>

老人福祉センター(延べ利用者 2,711名)
生きがいセンター(延べ利用者 79名)
公民館(延べ利用者 21,878名)

令和5年度 阿賀野市社会福祉協議会財産目録

【財産目録】

令和6年3月31日現在 (単位:円)

資産・負債の内訳	金額
1、資産の部	
流動資産	
現金預金	119,954,730
事業未収金	50,111,553
未収金補助金	214,000
貯蔵品	68,468
原材料	255,707
立替金	1,245,312
前払金	887,141
仮払金	13,800
流動資産計	172,750,711
固定資産	
基本財産	
建物	2
定期預金	4,000,000
基本財産計	4,000,002
その他の固定資産	
建物	3,686,908
構築物	5
車輛運搬具	1,761,420
器具及び備品	1,633,161
有形リース資産	1,358,742
長期貸付金	155,000
退職手当積立金預け金	267,084,410
修繕費積立資産	800,000
備品等購入積立資産	500,000
工賃変動積立資金	500,000
設備等整備積立資産	1,000,000
事業運営安定資金積立資産	50,068,133
預託金	113,970
その他の固定資産計	328,661,749
固定資産計	332,661,751
資産合計	505,412,462

資産・負債の内訳	金額
2、負債の部	
流動負債	
事業未払金	20,532,846
1年以内返済リース債務	685,080
未払費用	15,554,162
預り金	368,149
職員預り金	6,773,833
流動負債計	43,914,070
固定負債	
リース債務	1,655,610
退職給付引当金	320,028,640
固定負債計	321,684,250
負債合計	365,598,320
差引純資産	139,814,142



【貸借対照表】

令和6年3月31日現在 (単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
401 流動資産	172,750,711	212,256,602	△ 39,505,891	411 流動負債	43,914,070	40,162,118	3,751,952
402 固定資産	332,661,751	335,479,281	△ 2,817,530	412 固定負債	321,684,250	321,051,490	632,760
				負債の部合計	365,598,320	361,213,608	4,384,712
				純資産の部			
001 基本財産	4,000,002	4,000,002	0	413 基本金	4,000,000	4,000,000	0
				414 基本	0	0	0
				415 国庫補助金等特別積立金	3,515,789	4,790,874	△ 1,275,085
002 その他の固定資産	328,661,749	331,479,279	△ 2,817,530	416 その他の積立金	55,117,247	55,116,247	1,000
				417 次期繰越活動増減差額	77,181,106	122,615,154	△ 45,434,048
				純資産の部合計	139,814,142	186,522,275	△ 46,708,133
資産の部合計	505,412,462	547,735,883	△ 42,323,421	負債及び純資産の部合計	505,412,462	547,735,883	△ 42,323,421

※阿賀野市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



令和5年度阿賀野市社会福祉協議会 赤い羽根共同募金助成事業報告



阿賀野市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金より令和5年度の地域福祉推進事業費として5,196,346円の助成を受けましたので、その用途についてご報告いたします。

【高齢者福祉活動費 2,559,346円】

- ふれあい昼食会…………… 139,000円
- 配食サービス事業等…………… 2,420,346円



ふれあい昼食会（北方文化博物館にて）



配食サービス

【児童・青少年健全育成事業費 80,000円】

- ボランティア体験学習支援事業費… 80,000円



高齢者疑似体験学習



防災体験学習

【障がい児・者福祉活動費 103,000円】

- 障がい者ふれあい交流会…………… 53,000円



観葉植物のクリスタルボール作り交流会

- 多様性理解の研修会…………… 50,000円

【住民全般福祉活動費 2,454,000円】

- ボランティア活動支援事業…………… 113,000円
- 県民福祉大会研修事業…………… 20,000円
- 社協機関紙発行事業…………… 340,000円
- ボランティア通信発行事業…………… 814,000円
- 行旅人旅費支援事業…………… 7,000円
- サロン活動推進事業…………… 305,000円
- 地域ささえ愛事業…………… 417,000円
- 介護教室開催事業…………… 33,000円
- 災害対策事業…………… 233,000円
- おうちごはんプロジェクト…………… 172,000円



介護教室（車いす体験）

日常生活 自立支援事業

生活支援員 募集しています！



そもそも、日常生活自立支援事業とは

認知症高齢者や知的障がい者・精神障がい者で判断能力に不安のある方々が、できる限り地域で安心して自立した生活を送ることができるように支援を行うサービスです。

利用される方と阿賀野市社会福祉協議会が契約をしますので、ご本人が契約内容をご理解いただける必要があります。

生活支援員とは

生活支援員は社会福祉協議会の職員として活動していただきます。

主な活動内容は下記の通りです。

- 福祉サービス利用のお手伝い：施設利用料の支払い手続き、苦情に関する相談など
- 金銭管理のお手伝い：生活費や預金の払戻し、預け入れなど
- 書類確認のお手伝い：支払いが必要な書類、手続きが必要な書類の確認など
- 定期訪問：月に1～2回、1時間程度、ご自宅や施設等へ訪問します。

活動してみませんか？

1. 阿賀野市在住で20歳以上65歳未満の方
2. 月数回、平日の日中、2時間程度活動ができる方
3. 普通自動車免許をお持ちの方

生活支援員の報酬

- ★報酬：時給971円
- ★交通費：1kmあたり20円
- ★その他：活動時の車両燃料代の支給あり

連絡先

阿賀野市社会福祉協議会 TEL：67-9203

赤い羽根共同募金 感謝状贈呈式・助成金目録交付式



阿賀野市共同募金委員会では、赤い羽根共同募金の仕組みや市民の皆さまよりお寄せいただく募金の使いみちを広く知っていただく機会として、去る6月26日に阿賀野市水原保健センターにおいて『赤い羽根共同募金感謝状贈呈式・助成金目録交付式』を開催しました。

共同募金運動推進のため毎年継続して積極的に協力され、その功績が顕著な7法人へ感謝状が贈られました。

また、昨年の募金運動によりお寄せいただいた募金から、令和6年度に阿賀野市内で実施される社会福祉の向上を目的とする事業助成として、社会福祉協議会、自治会、福祉活動団体、学校へ助成金目録が交付されたのち、助成団体を代表して阿賀野市立水原小学校校長の鈴木先生より謝辞をいただきました。

感謝状贈呈企業（順不同）

有限会社 エム テック 様
 長谷川 設計 様
 株式会社 井上 土木 様
 株式会社 武田 不動産 様
 関口 喜代次 様
 有限会社 情報画廊 様
 有限会社 片桐配管工業 様



情報画廊様、副会長(社協会長)、会長(市長)、井上土木様、長谷川設計様

<令和5年度共同募金による令和6年度事業費助成団体>（敬称略）

助成種別	助成先	事業名	助成額
広域助成	特定非営利活動法人あおぞら 熊と森の湯	ネットワークカメラの整備事業	1,490,000円
	1団体	1事業	1,490,000円
助成種別	助成先	事業名	助成額
地域助成	社会福祉法人阿賀野市社会福祉協議会	配食サービス事業等15事業	6,162,787円
	緑町自治会	不審者の出没による防犯活動の強化事業	50,000円
	阿賀野市民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員活動事業	505,000円
	阿賀野市立安田中学校	社会福祉研究普及事業	46,000円
	阿賀野市立京ヶ瀬中学校	コスモスロード・門松贈呈事業	49,000円
	阿賀野市立水原中学校	地域貢献活動ボランティア事業	50,000円
	阿賀野市立笹神中学校	「はぐろの里」交流活動事業	49,000円
	阿賀野市立安田小学校	地域福祉推進事業	50,000円
	阿賀野市立京ヶ瀬小学校	福祉体験交流活動事業	46,000円
	阿賀野市立堀越小学校	社会福祉活動事業	50,000円
	阿賀野市立水原小学校	瓢湖を核とした学習活動事業	50,000円
	阿賀野市立安野小学校	児童健全育成事業	50,000円
	阿賀野市立神山小学校	福祉教育交流活動事業	38,000円
	阿賀野市立笹岡小学校	児童・青少年健全育成事業	39,000円
	14団体（校）	28事業	7,234,787円



ひとりひとりが福祉のサポーター 令和6年度社協会員(会費)にご協力をお願いします。

阿賀野市社協は、「市民の主体的参加と協働によりお互いさまといえる共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を基本理念として地域福祉活動を推進しています。

活動におけるひとつの財源として、皆さまにご協力をお願いする会費は地域福祉活動を推進する上で貴重な財源であるとともに、市民の皆さまに会費を納めていただくことによって地域の福祉活動に間接的に参加していただくことにもつながります。

ぜひ、社協活動の趣旨にご賛同いただき、会員への加入にご理解とご協力をお願いいたします。
※自治会長様へは、8月1日付の文書にて改めて会費の取りまとめについてお願いする予定です。
※会員に加入することや会費の金額については、決して強制ではなく任意です。

● 社協会員(会費)の種類 ●

一般会員 一世帯 500円	賛助会員(役員・篤志家) 一〇 1,000円	特別会員(法人事業所・団体・福祉施設) 一〇 3,000円
------------------	---------------------------	----------------------------------

令和5年度社協会費の実績と使い道のお知らせ

会費実績 **4,143,378円**

一般会費	9,155世帯	3,796,378円
賛助会費	122個人	122,000円
特別会費	福祉団体 5団体 福祉施設 7施設 事業所 38事業所	225,000円

主な会費の使い道として

- いきいきサロン推進事業
高齢者や子育て世代の閉じこもりの防止や仲間づくり、生きがいつくりのための活動の支援
- 社会福祉事業功労者表彰式
市内の福祉事業における功労者の表彰
- 地域活動車輛維持費
貸出用マイクロバスの車検代・保険料・整備費等
- 社協機関紙「福祉あがの」発行事業
ホームページ管理運営更新料含む
ホームページアドレス<http://www.agano.net/shakyo/>
- 法人運営費
市社協運営のための人件費以外の事務費と事業費

令和6年度 社会福祉事業功労者 表彰式

6月26日(水)、水原保健センターを会場に社会福祉の各分野で功績のあったみなさんの表彰式が行われました。

表彰を受けられたみなさん、おめでとうございます。



【社会福祉事業功労者表彰】 敬称略、順不同

○社会福祉施設役職員功労表彰(4名)

青木正敬(福)飛翔福祉会

横渡美保(福)阿賀北総合福祉協会

渡邊悠紀(福)阿賀北総合福祉協会

小貫徹(福)飛翔福祉会

○社会福祉施設・団体優良活動表彰(1団体)

さわやかサロン

○永年勤続表彰(1名)

佐藤恵美子(福)阿賀野市社会福祉協議会

歌や踊りを披露して いただける団体さまを (個人の方ももちろん大歓迎！) **大募集中**

阿賀野市社会福祉協議会では通所介護事業所を3カ所運営していますが、ここで地域の皆さまにお願いがあります。

新型コロナウイルス感染症が流行する前は、毎月のように地域の芸達者な皆さまから午後のレクリエーションの時間に懐メロのカラオケや踊り、マジックショー、かわいい園児さんたちの歌声等を披露していただいて、利用者さんと地域の皆さまの交流会が行われていました。

再び、あの頃の賑わいを取り戻したい！演じる人の笑顔と観る人の笑顔が作り出す幸福なひとときを利用者の皆さんにもう一度提供したい！

そこで、通所介護事業所では
歌や踊り等を披露していただける団体を募集します
日頃の芸技の練習の成果を発表する機会にしてみませんか

ご協力いただける団体がいらっしゃいましたら、各施設までご一報お願いいたします。折り返し担当者から日程の調整等のご連絡をさせていただきます。もちろん、個人で活動されている方も大歓迎です。

皆さまからのご連絡を心からお待ちしております。

よろしくお願いいたします。

連絡先

阿賀野市デイサービスセンター (通所介護事業所)	住所	TEL (担当)
むすびの里	寺社甲214	68-5885 (長島・波多野)
第二むすびの里	寺社甲208-1	
第二わかばの里	稲荷町11-10	63-2121 (佐藤・町田)

職員募集

法人 臨時職員 1名

産休代替募集

勤務地	阿賀野市姥ヶ橋669番地(京ヶ瀬支所内)
職務内容	地域福祉課 配食サービス、ボランティアセンター業務
勤務日	カレンダー通り
賃金	148,960円 通勤手当、処遇改善手当支給、 社会保険、雇用保険加入
備考	7月中旬～1年間限定 継続無し (採用日要相談)

こどものことばとこころの相談室

臨時職員

阿賀野市岡山町4-12
相談支援専門員 又は 相談支援員
基本、週5日(月～金)
①159,400円 ②176,000円 3年後昇給あり ベースアップ加算手当あり 社会保険・雇用保険加入
※無資格でも親切丁寧に指導いたします。

詳細についてはお問い合わせください。お電話お待ちしております。

阿賀野市社会福祉協議会 総務課 担当：阿部、神田 TEL：0250-67-9203

この機関紙は社会福祉協議会会費
並びに赤い羽根共同募金助成金で
発行しています。

発行 〒959-2123 新潟県阿賀野市姥ヶ橋669 (阿賀野市役所京ヶ瀬支所内)

社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会

TEL 0250-67-9203 FAX 0250-67-9204

福祉あがのは、ボランティアグループ「うぐいす会」により音声訳されています。